



市民活動プロデューサーを知っていますか？

みなさん、普段の生活の中で「あっこんな、ことしたいな」とか「こんな活動している人いないのかな？」とか思ったことはないですか？

そんな、みなさんが抱えているいろいろな想いをつないだり、活動の支援をしてくれるのが市民活動プロデューサーです。市民活動プロデューサーはみえ市民活動ボランティアセンターに毎日、AM9:00からPM10:00までいます。

あなたの想いを受けてくれる市民活動プロデューサーってどんな人なんですか？今回から二人ずつ登場します。今回は男性二人ですが女性の方もいますので想いを一人で抱えてないで相談にいらしゃいませんか？



岡嶋多華夫

こんにちは、市民プロデューサーの岡嶋です。
中学3年時に某テレビ番組の影響でダンスを覚え、高校2年時にリチャード・マークスの影響で歌うことを覚え、大学でアカペラを覚え、その後イベントプロデューサーに師事し、1997年の地球温暖化防止京都会議(COP3)をきっかけに地球環境問題に興味を持ち、東京の環境イベントNPO「レインボーパレード」で活動して、地球を愛するイベント野郎となってしまいました。
今は地元三重県で「音楽の在るまちづくり」をしようとして活動中です。
さて、自己紹介をいきなりしてしまいましたが、ここ、みえ市民活動ボランティアセンターでの主な業務はセンターのホームページ作りを担当しております。NPOチームの森下さんと相談しながらWEBサーバー管理にも挑戦中です。みなさんが活用しやすい魅力的なページづくりを心掛けていますが、気付いた点やご意見・ご感想・ご要望がありましたら遠慮なく教えてください。良し悪しに関わらず、みなさんから反応していただける事が何より嬉しいのです。
※関連ホームページ
すわパークライヴ (<http://parklive.web.infoseek.co.jp>)
いなベココミュニティスクール (<http://www5.ocn.ne.jp/~inabecs/>)

◆発行◆
514-0009
津市羽所町700番地
アスト津3階
みえ市民活動ボランティアセンター
Tel.059-222-5981
Fax.059-222-5971
E-mail seiknpo@pref.mie.jp
NPOチームのホームページ
<http://www.mienpo.net/npot>
三重県のホームページ
<http://www.pref.mie.jp>

市民活動ニュースはこちらにあります！

【地域の市民活動センター等】津市市民活動センター(津市大門7-15 津センターバレス3階) / オールウェイズ(津センターバレス1階) / 津中央郵便局ボランティアコーナー(津市中央) / (有)デザインオフィス秋野(津市大谷町301-1) / 市民活動情報ネットワークすずかのぶどう(鈴鹿市白子駅前18-15) / 南勢町市民活動連絡協議会(南勢町五ヶ所浦3917町民文化会館内) / 特定非営利活動法人伊勢志摩NPOネットワークの会(伊勢市黒瀬町1323-4) / 鳥羽NPOネットワークセンター(鳥羽市鳥羽1-3-8) / 市民活動共同センター(桑名市中央町1-8 東和ビル内) / 四日市市民活動センター(四日市市鶴町4-17) / アミ・ノット・スペース内(特)地域づくり考房みなと(四日市市川原町26-13) / 寺子屋プロジェクト(四日市市天ヶ須賀4丁目9-19) / ウィリアム テルズ・アップル まちづくりセンター(上野市福居町3317番地) / みえ市民活動ボランティアセンター(津市羽所町700アスト津3階) / 上野市中央公民館 / 上野市立図書館 / 上野市民ITサポートセンター(特)平成・伊賀@LAN事務所 / 上野青年会議所 / 名振市立図書館 / 名張青年会議所 / 皇学館大学名張キャンパス / 名張市総合福祉センター / エコリゾート赤目の森(名張市上三谷268-1) / 明和町市民活動サポートセンター(明和町馬之上944-5) / 松坂大学(松坂市久保町1846)

【地域の社会福祉協議会】県内69の市町村社会福祉協議会
【金融機関】百五銀行各店 / 三重銀行各店 / 東海労働金庫各店
【行政機関等】三重県庁県民ホール(津市広明町13) / 三重県地域機関(各県民局)(桑名、四日市、鈴鹿、津、久居、松阪、南勢志摩、伊賀、紀北、紀南) / 三重県民サービスセンター(情報公開窓口) / 三重県総合医療センター / 三重県立一志病院 / 三重県立志摩病院 / 三重県立こころの医療センター / 斎宮歴史博物館 / 三重県立博物館 / 三重県立図書館 / 三重県生涯学習センター / 三重県女性センター / 三重県人権センター / 三重県身体障害者総合福祉センター / 三重県環境学習情報センター / 各市町村役場

はじめまして。市民プロデューサーの畑中と申します。まず、皆さんは「市民プロデューサーってなに？」と思われるでしょう。要は市民活動の影の仕掛け人です。

具体的にはボランティアやNPOへのアドバイスや仲介、情報収集・提供、イベント企画など中間支援を主な業務としています。近年、三重県はよくNPO先進県だといわれます。

しかし、その一方、NPOに関心がない、よく分からない…。こういう声も多く聞きます。

しかし、その声こそ大きな潜在能力を秘めた有望なマーケットでもあります。市民プロデューサーには、その市場を開拓していくというベンチャー精神も同時に求められています。実は数年前まで私も、そのなかの一人でした。「きっかけ」と「やる気」「人の輪」さえあれば、市民活動は実現できるものなのです。21世紀、皆さまのご活躍を期待しております。



畑中英樹

ボランティアコーディネーターってなんだ?? ① 野村希代

5月号にも登場しました、三重県ボランティアセンターの野村です。これから毎月このコーナーに記事を書かせていただくことになりました。よろしくお願ひします。

さて、このアスト津にいてよかったな~と思っていること、それは、ボランティアや市民活動に取り組んでいる方との距離が縮まったことです。ボランティアや市民活動を支援するセンターでありながら、活動している方たちの声を聞くことや活動の様子を見る機会がなかなか持てず、いろいろな事業を進めていく上で、みなさんが本当に必要としている関わり方や支援のあり方とは何なのかということがおそろくなっていったような気がします。今でも十分とは言えないのですが…。でも、このセンターにいるからには、そんなことは許されたいはず。よきパートナーであるNPOチームと、また、行政の窓口やボランティア・NPOの方と一緒に歩んで行けるセンターにしたいと思っていますので、センターにいらしたらぜひみなさんの声を聞かせてくださいね。

情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。
ホームページ版、朗読テープ版もあります。お気軽にお問い合わせください。

特集

第1回 雇用の問題で紛争になったら? ~解決方法を紹介しします~

市民活動をしていると自分のパートナーの行政しか見えてないってことないですか?
あなたに何か伝えたいって考えている誰かがいらっしやるかもしれませんよ。
この特集はNPOの人に知って欲しいと思っている三重県のサービスを紹介します。
次回は「環境の情報をまとめて知るには?~魚の目でみえを観る」を紹介します。

労働委員会と労働・生活室は、より良い労使関係を築いていくためのお手伝いをしています。
費用は無料で、秘密は厳守します。お気軽にご相談ください。

あっせん

貸金・労働時間・解雇など、労働者と事業主との間で交渉を重ねても、解決できずに困っていることはありませんか。そんなとき、労働委員会と労働相談室は、労使双方の間に立ち、早期解決が図られるよう助言するなどのお手伝いをしています。

双方の言い分を聞き取り、争点を明らかにしながら、話し合いをとりもち主張をとりなして、双方の歩み寄りを図りながら問題の解決に努めるのが「あっせん」です。

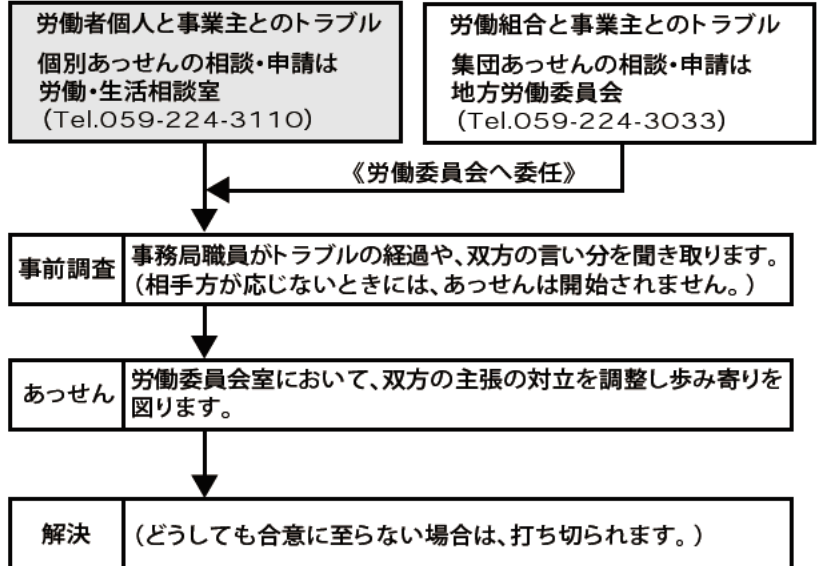
あっせんは、公益側、労働者側、使用者側の立場にある経験豊かなあっせん員が三者構成で行ないます。

問い合わせ先

三重県地方労働委員会事務局
津市栄町1丁目954 県民サービスセンター5階
Tel.059-224-3033 E-mail chiroi@pref.mie.jp
ホームページ <http://www.pref.mie.jp/CHIROI/HP/index.htm>

労働・生活相談室(三重県生活部勤労福祉チーム)
津市栄町1丁目891勤労者福祉会館1階
Tel.059-224-3110 Tel.0120-311018
(フリーダイヤル)月・水・金曜日(午前9:00~午後5:00)、火・木曜日(午前9:00~午後7:00)

あっせんの流れ



イベントスケジュール

「able」上映会 & 「スペシャルオリンピックス」説明会

【「able」上映会 ~障害のある人の自立と社会参加を目指して~】

●とき/7月5日(土) 第一部AM10:30開演 第二部PM1:30開演

●ところ/鈴鹿市文化会館けやきホール
●参加費/一般 前売1200円 当日1500円
高校生以下、障害者、障害者付添い(1名のみ)
前売1000円 当日1200円

●内容/ダウン症と自閉症の二人の青年が言葉も習慣も違うアメリカでホームステイをする三ヶ月間のドキュメンタリー映画。それぞれの可能性「able」を広げ周囲の人との信頼関係をつくっていく姿を追います。上映後、スペシャルオリンピックス日本理事長であり、細川元首相夫人である細川佳代子さんの講演を行います。

【「スペシャルオリンピックス」説明会】

●とき/7月13日(日) AM10:00~正午
●ところ/三重県北勢健康増進センター ヘルスプラザ (四日市市塩浜 Tel.0593-49-3311)

●内容/知的発達障害のある人々の日常的なスポーツプログラムと競技会を提供する民間ボランティア運動組織を三重県に!

●申込・問い合わせ先/三重県でスペシャルオリンピックスを始める会(担当:木田幸子) Tel.080-3615-8006
ホームページ <http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Sakura/1246/som.htm>

われらのパートナー【わんちゃん展】

●とき/7月7日(月)~11日(金)
初日はPM1:00~、最終日はPM3:00終了
●ところ/アスト津3階イベント情報コーナー(津市羽所町700)
●内容/平成14年、身体障害者補助犬法が制定され、平成15年10月1日からは特殊な場合を除きすべての施設・事業所・住宅において補助犬の入室・入所を拒んではならないという法律が施行されます。補助犬とは盲導犬・介助犬・聴導犬ですが、これらの犬は障害

者にとってはパートナーとよばれる存在です。今回は盲導犬を中心に、写真・絵画・新聞・ビデオ・グラフ・グッズなどを展示。展示品のなかからクイズを出題し、正解者には7月13日に賞品を進呈します。資料の提供をふくめ、展示会にもぜひご参加ください。

●問い合わせ先/特定非営利活動法人三重補助犬普及協会
Tel.&Fax.059-222-8419

県民講座 UD(ユニバーサルデザイン)のまちづくりシリーズ 第2回「建物のUD」

●とき/7月12日(土) PM1:30~PM4:30 ●参加費/無料
●ところ/じばさんみえ6階ホール(四日市市安島一丁目3-18)
●内容/三重県では、障害の有無や年齢、国籍などにかかわらず、だれもが自由に社会参加できるまちづくり=ユニバーサルデザインのまちづくりを進めています。いろいろな分野におけるユニバーサルデザインのまちづくりについて、県民の方々と一緒に考える講座にぜひご参加ください。今回は静岡文化芸術大学デザイン学部空間造形学科教授、古瀬敏さんの講演「ユニバーサルデザインによる住まいとまち」を開催します。
●申込方法/所定の申込書を郵送またはFax、電話、E-mailで。
●主催・申込・問い合わせ先/514-8570 津市広明町13 三重県健康福祉部ユニバーサルデザインチーム Tel.059-224-3349 Fax.059-224-2340 E-mail ud@pref.mie.jp
ホームページ <http://www.pref.mie.jp/ud/hp/>

「ボランティアのつどい」講演会

●とき/7月13日(日) PM12:30受付開始~PM4:00
●ところ/鈴鹿市社会福祉センター(鈴鹿市中央通り沿い)
●参加費/無料
●内容/いつ起こるか分からない東海・東南海・南海地震に備えて、あるいは予想もしない天災にむけての心構えとともに、私たちにできること、ボランティアの立ち場でさらに必要とされる事を考えます。また、災害時のボランティア活動は若者だけの活動と思われがちですが、多くの一般市民の活動が必要とされる場面があるはず。平素から心掛けておきたいこと、緊急時に動けるためには普段どんな準備をしておいたらいいのだろうか、などについて考えましょう。当日は日本災害救援ボランティアネットワーク(NVNAD)事務局、寺本弘伸さんによる講演もあります。

●問い合わせ先/鈴鹿市社会福祉センター
Tel.0593-82-5971

農産物生産者と消費者の料理実習と交流会

- とき/7月16日(水)AM10:00~PM2:50
- ところ/津リージョンプラザ2階栄養指導室(津市西丸之内23-1津市役所西隣) ●参加費/500円
- 内容/津安芸及び久居一志地域の女性農業者と消費者(食に関わる市民活動グループなど)提案のレシピ集で料理実習を行い、地産地消や食の安全安心についての意見交換等を行います。
- 募集人数/20人 ●応募締切/7月4日(金)
- 申込・問い合わせ先/津地方農政局農林水産商工部経営普及グループ(津一志地域農業改良普及センター)(担当:田中) Tel.059-223-5123 Fax.059-223-5151

7月のまちのファンクラブ交流会

「桑員エコリーグさんの環境への取り組み」

- とき/7月18日(金)PM7:00~PM9:00
- ところ/北勢農政局桑名庁舎 第一会議室(桑名市中央町5-71 Tel.0594-24-3709) ●参加費/会員300円 一般500円
- 内容/7月のまちファン交流会は、桑名・員弁生活創造圏に関係する住民、企業、団体、行政が協働して桑名地区の環境づくりを進めることを目的として活動している「桑員エコリーグ」のみなさんとの交流会を行います。交流会では、エコリーグのみなさんに団体の概要や取り組んでいる事業の説明をしていただき、参加者と意見交換を行います。ファンクラブのメンバー以外の方も参加できます。
- 申込・問い合わせ先/511-0068 桑名市中央町1-8 2階 まちのファンクラブ Tel.0594-27-2700(平日PM1:00~PM3:00) E-mail fanclub@mie-kita.gr.jp ホームページ <http://www.mie-kita.gr.jp/>
- 主催/まちのファンクラブ、桑員エコリーグ、「輪」リサイクル思考

雑問にアートで答える作品展「アンサー2nd」

- とき/7月19日(土)~21日(祝・月)AM10:00~PM7:00
- ところ/コミュニティープラザ(松阪駅前商店街ベルタウン2階)
- 参加費/無料 ●主催/アンサープロジェクト
- 内容/チャンネルM・米山テツの問いに、アーティストが作品で答える作品展です。今回の問いは「永遠の長さとは?」。絵画、立体造形、エッセイ、写真などの様々なジャンルで答えが出されます。好評のパフォーマンスも同時開催します。独り芝居、ライブペイント、音楽演奏などを予定。パフォーマンス、19日に会場にて発表となります。
- 申込・問い合わせ先/チャンネルM(米山テツ) Tel.090-3385-6958 E-mail ch-m@m5.dion.ne.jp

Artist in Residence at IGA 2003

- とき/7月20日(日)~9月14日(日)
- 参加費/企画により別途必要。
- 内容/伊賀でプロの彫刻家の制作過程をまじかに見ながら、その指導を受けてあなたも彫刻をつくって作家と一緒に展示しませんか? 参加費や会場など、詳しくはお問い合わせを。

【企画紹介】

- ・『開会行事』7月20日(日)PM1:00~PM2:00(青山町北部公園)
- ・『作家滞在型公開制作』7月20日(日)~8月31日(日)AM9:00~PM5:00(青山町北部公園)
- ・『講演会・パネルディスカッション・フォーラム』8月3日(日)PM1:00~PM5:00(青山ホール)
- ・『彫刻作品展覧会』9月1日(月)~9月14日(日)AM10:00~PM6:00(最終日はPM3:00まで)(青山ホール)
- ・『ギャラリートコンサート』9月7日(日)PM2:00~PM3:30(青山ホール)
- ・『閉会行事』9月14日(日)PM4:00~PM5:00(青山ホール)

【参加者募集】

- ・『シニア彫刻教室・子ども立体造形教室』7月26、27日、8月2、3、9、10、23、24、30、31日AM10:00~PM4:00(青山町北部公園)…木彫・石彫・金属彫刻・陶彫から選択、初日・最終日を含む半数以上の日に参加可能な方

【ボランティア募集】

制作アシスタント、作家・アシスタントのホストファミリー、地域ボランティアなどを募集しています。

●申込・問い合わせ先/518-0205 名賀郡青山町伊勢路字青山1381-77 NPO法人Arts Planet Plan from IGA(代表理事:森田耕太郎) Tel.(186-)0595-53-1077(非通知では繋がりません) E-mail appfi@kawachi.zaq.ne.jp

「川づくり会議みえ」(仮称)設立総会

- とき/7月26日(土)PM1:00受付開始 PM1:30開会
- ところ/アスト津3階 情報イベントコーナー(津市羽所町700)
- 内容/「川づくり会議みえ」は、三重県において、自然豊かで子どもが遊べる、「魅力ある川づくり」を実現するため、山〜川〜海、環境創造、社会教育、市民活動に関わる行政と連携、協働して実践するとともに、県民、住民組織、市民団体がこれに参加できる機会や「場」を設けることを目的として設立します。
- 問い合わせ先/川づくり会議みえ設立準備会 川上 聡 Tel.090-2115-1507 久世憲志 Tel.090-5637-0727

四日市市非核平和都市宣言啓発事業

四日市市・NPO法人体験ひろば☆こどもスペース四日市共催企画【無言館バスツアー】

- とき/7月30日(水)AM7:30四日市出発~PM8:00頃
- 参加費/4000円
- 内容/志半ばで戦地に散った画学生30余名の遺作、遺品が展示されている戦没画学生慰霊美術館「無言館」(長野県上田市)を訪れます。対象は小学1年生以上。小学4年生までは親子で参加を。
- 【親子のためのコンサートドラマ『ピアノのはなし』一京楽座一】
- とき/8月11日(月)PM2:00開演
- ところ/四日市市文化会館第2ホール
- 鑑賞券/大人2500円 高校生以下1500円
- 内容/1945年5月、佐賀県鳥栖市、特攻隊員が出撃前に小学校のピアノで「月光」を弾きました。実際にあった話をひとり芝居に定評のある中西和久が演じます。未就学児の託児は一人1000円で受付。無言館バスツアーとコンサートドラマのセット料金もあります。

【戦争のはなしを聞こう】

- とき/8月1日(金)PM6:30~PM8:30
- ところ/あさけプラザ小ホール(四日市市)
- 参加費/500円/組(1人増えるごとに300円)
- 内容/戦争を体験された方のお話をうかがいます。
- 募集人数/親子30組
- 申込・問い合わせ先/四日市市波木町坂向2040-2 NPO法人体験ひろば☆こどもスペース四日市 Tel.&Fax.0593-21-0883 E-mail m.t.3730@jeans.ocn.ne.jp

子ども科学体験教室

- とき/7月31日(木)AM10:00~PM5:00
- 8月1日(金)AM10:00~PM4:00 ●参加費/入場無料
- ところ/四日市市会場・鈴鹿山麓研究学園都市センター(四日市市桜町3690-1) 松阪会場・県立みえこどもの城(松阪市立野町1291中部台運動公園内) 両会場で同時開催
- 内容/三重県科学技術振興センターの研究員が、子どもたちに科学の面白さを親しみやすく伝える体験教室を行います。
- 申込・問い合わせ先/三重県科学技術振興センター総合研究企画部 研究評価グループ Tel.0593-29-3623 Fax.0593-29-8017 ホームページ <http://www.mpstpc.pref.mie.jp/>

旧四日市を語る会15周年記念「ふるさとの交歓パート2」

- とき/8月16日(土)PM12:50開演
- ところ/四日市市文化会館第2ホール、第3ホール
- 内容/四日市市の郷土史を自分の経験を通じて調べ、語り合い、次代に伝えることをテーマに活動してきた旧四日市を語る会の記念行事。今回は四日市出身のテナーサクソ奏者田辺信男さんを迎え、同級生との交歓、そしてテナーサクソ奏者として活動するようになったのか、回顧談を聞きます。事前申込ください。先着順です。
- 【プログラム】
- 第一部「ふるさとの交歓」PM12:50~PM1:50
- 第二部「コンサート」PM2:00~PM3:30
- 「音楽を楽しもう・歓談しよう」PM5:00~PM8:00
- 問い合わせ先/旧四日市を語る会(岡野繁松) Tel.&Fax.0593-53-0632 E-mail Okano-s@m4.cty-net.ne.jp



ネットワークのよびかけ

三重県監査委員事務局「いきいき・どこでもトーク」

～監査ってどんな仕事をしているの？監査の結果は？～

皆さん、「監査」ってご存知ですか？監査は皆さんの大切な税金の使い方を県民の皆さんの視点でチェックしています。そのためには、皆さんの監査の対するご意見をお聞きし、監査の業務を皆さんに知っていただくことが大切と考えました。この程、三重県監査委員事務局では、その機会として「いきいき・どこでもトーク」を実施します。いつでもどこでも、皆さんがお集まりの場所(約10人以上)にお伺いしますので、ぜひお気軽にお声をおかけください。

●申込・問い合わせ先/514-8570 津市広明町13
三重県監査委員事務局監査・評価担当 Tel.059-224-2924
Fax.059-224-2220 E-mail kansai@pref.mie.jp
ホームページ http://www.pref.mie.jp/

第12回全国ボランティアフェスティバルいしがわ

ボランティア・市民活動メッセージコンクール作品募集

ボランティア・市民活動を通して学んだことや伝えたいことなどを盛り込んだ魅力あるメッセージを多くの人々に伝え、活動の全国的な推進を図ることを目的として、「ボランティア・市民活動メッセージコンクール」を実施します。テーマは「私のボランティア・市民活動とコミュニティ」。詳しくはお問い合わせください。

【応募方法】

●応募締切/7月31日(木) 必着
●応募者/ボランティア・市民活動に参加している方であれば、どなたでも応募できます。

●募集内容、字数および記述方法/次の(1)～(4)を送付。

(1)メッセージ…ボランティア・市民活動を通して感じたこと、学んだことの中から、他者に伝えたい思いをメッセージにしてください。メッセージを発信する対象は、地域の人々や活動の仲間、行政、活動推進機関など自由。字数:150～200字以内 形式:散文や詩など、形式は自由。タテ書。(2)活動報告…メッセージを発信するに至った活動内容や経緯を、出来事やエピソードとともにまとめてください。字数:400字詰め原稿用紙8～10枚程度(3)活動資料(4)応募票
●申込方法/応募票、募集要項はホームページからダウンロードするか、下記へ問い合わせてください。

●問い合わせ先/100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル 全国社会福祉協議会・全国ボランティア活動振興センター「ボランティア・市民活動メッセージコンクール」係
Tel.03-3581-4656 Fax.03-3581-7858
ホームページ http://www3.shakyo.or.jp/cdvc/volunteer/festival/index.html

子育てキーパーソン養成事業委託団体募集

四日市保健福祉部では、子育て仲間として年齢が近く気軽に相談できる人が地域に多くいれば安心して子育てができ、虐待の予防にもつながるのではないかと考え、子育てキーパーソン養成事業を実施しています。NPO等との協働を図るため、養成講座の企画・運営等を委託する団体を募集しています。

●対象/子育て中の方、子育て中の方と年齢が近い子育て経験者
●講座回数・内容/1コース5回シリーズ(子育てに関する内容)
●講座実施期間/平成15年8月15日～平成16年1月31日
●募集数/3コース(四日市・楠、菟野、朝日・川越の各コース)
●委託金額/1コース 25万円以内
●募集締切/7月31日(木) PM5:00
●問い合わせ先/北勢県民局四日市保健福祉部子育て支援グループ(事務担当:平井) Tel.0593-52-0585
Fax.0593-52-0598 E-mail hirais00@pref.mie.jp

多文化共生社会づくり事業委託

～みなさんのアイデアと実行力に期待します～

●受付期間/7月1日(火)～8月11日(月)必着
●委託の対象となる団体・個人/三重県を主たる活動地域とする企業、団体及び個人で、多文化共生社会の構築に役立つ事業を、三重県の委託事業として自ら実施する意志のあるもの。営利・非営利、法人格の有無は問いません。
●委託の対象となる活動/1、県内在住の外国人の生活、労働、教育環境等

の改善に役立つ事業。2、県内在住の外国人と日本人との相互理解や協力を促す事業。3、異なる多様な文化が共生する社会の豊かさを県民が実感することにつながる事業。4、その他、多文化共生社会の構築に役立つ事業。

●委託料/1事業につき上限30万円、3件程度を予定。
●応募方法/所定の応募用紙などは電話などで請求するか、ホームページからダウンロード。なお応募選考に関する説明会を7月16日に開催します。
●問い合わせ先/三重県生活部国際チーム 514-0062 津市羽所町700アスト3階 Tel.059-222-5974 Fax.059-222-5984
E-mail kokusai@pref.mie.jp
ホームページ http://www.pref.mie.jp/KOKUSAI/HP/

「みんなでいっしょに何かはじまる」協働セミナー講座

市民と行政の「協働」が全国各地で行われています。「協働セミナー講座」では、パネリストたちのにぎやかなテーブルトークで桑名市での「協働」の具体的な取り組みを取り上げ、参加者のテーブルワークなども行いながら、市民と行政との「協働の知恵」を見つけていきたいと思います。7月から10月まで、毎月一回行う予定です。なお詳細はみえきた市民活動センターのホームページ(http://www.mie-kita.gr.jp/machijoho/)をご覧ください。

【第1回予定】

「いっしょにはじめるまちづくり-未来つて、今からはじまっているんだよね-」

●とき/7月29日(火) PM1:30～PM3:30
●ところ/桑名市役所五階会議室 ●募集人数/50人
●参加費/無料(ひとつの講座のみでも参加できます)
●申込方法/必ず事前に内容をご確認のうえ、下記まで申込みを。
●企画・運営・申込・問い合わせ先/ふらっとホームクリエイターズ
Tel.0594-27-2700 Fax.0594-27-2733(平日PM1:00～PM3:00) ●主催/桑名市市民活動支援室

MIEチャイルドラインセンター ●○○○○○

●○○○○○●●●●● 2003年度講習会参加者募集

MIEチャイルドラインセンターは、なかなか自己肯定感を持っていない子どもたちが、一本の電話線を仲立ちに自らの心を開き、他人とつながることで生きる力となっていくことを願い、微力ですが週1回MIEチャイルドラインを開設しています。2003年度も7月より受け手・支え手養成のための講習会を開催いたします。

【プログラム】

●とき・内容・講師/時間はすべてPM2:00～PM5:00
7月27日(日)「チャイルドラインとは」(特)MIEチャイルドラインセンター代表理事 田部真樹子
8月17日(日)「子どもの権利条約」東京シューレ理事長 奥地圭子
9月7日(日)「身体を使って関係を結ぶ(ワーク)」オフィス516代表者 佐久間広一郎(予定)
9月14日(日)「電話を受ける ロール・プレイ」NPO法人チャイルドライン支援センター理事 安達優雅子
10月5日(日)「学校に行かない選択肢」不登校新聞編集局員 石井しこう
10月19日(日)「セックスワークとセクシャルヘルス」SWASH/Sex Work Sexual Health コーディネーター 桃河モモコ(予定)
11月2日(日)「思春期外来」奈良県立医大看護短大教授 飯田順三
●ところ/アスト津(予定) ●参加者/中学生～大人
●参加費/大人8000円 青少年(中学生～22歳)4000円
1回のみ1500円
●申込・問い合わせ先/514-0002 津市島崎町132-40
NPO法人MIEチャイルドラインセンター
Tel.059-223-4944 Fax.059-223-3100
E-mail mie-childlinecenter@neo.familie.ne.jp

三重テレビ放送「よーい、スタート!エムテレ隊が行く」出演者募集

県民の皆さんと作り上げるコーナー「よーい、スタート!エムテレ隊が行く」(毎週水曜日のPM6:00～放送)がスタートして1年余りが経ちました。これまで大学生の皆さんが社会問題を、NPOの方がそれぞれの活動を、高校放送部のメンバーが学校生活をレポートしてくれたほか、多くの人たちが番組を盛り上げてくれました。「エムテレ」では団体、個人に関わらず出演を受け付けています。(但し営利や政治、布教目的などの場合を除きます)カメラの貸し出しも行っていきますので関心のある方は、お問い合わせください。あなたもディレクター、カメラマン、リポーターになってみませんか?

●問い合わせ先/三重テレビ放送 報道制作部(担当:小川・坂口)
Tel.059-223-3360

みなさんへのお知らせ

【NPOチームからのお知らせ】

特定非営利活動法人(NPO法人)申請は2団体ありました。引き続き、認証申請を受け付けています。

申請のあった団体と成立した法人を紹介します。なお、関係書類は三重県生活部NPOチーム及び各県民局生活環境部に備え置いてあります。

●認証申請団体

- (1)名称(2)代表者氏名(3)法人事務所の所在地
(1)ひかりサポート(2)小谷光平(3)員弁郡大安町大字石博南79番地
(1)全日本カイロプラクティック認定学会(2)山田 明(3)松阪市中央町649番地3
(平成15年5月16日～平成15年6月15日申請分)

●成立した特定非営利活動法人(登記年月日)

- 特定非営利活動法人伊勢志摩バリアフリーツアーセンター(平成15年2月12日)
特定非営利活動法人ハート(平成15年2月14日)
特定非営利活動法人すりーはーと(平成15年4月8日)
特定非営利活動法人みやま元気の会(平成15年4月7日)
特定非営利活動法人ホープ21(平成15年4月15日)
特定非営利活動法人いきがい町づくり事業団(平成15年5月9日)
特定非営利活動法人ITサポート三重北(平成15年5月1日)
(平成15年5月16日～平成15年6月15日届出分)

を含みます。

- 助成の対象となる活動/住宅に関連する環境対策の推進に資する次の4項目の活動。(1)普及・啓発の活動(2)調査研究の活動(3)ハード・ソフトの技術開発活動(4)緑化・美化活動
- 助成の額/1件あたり原則として50万円。
- 応募方法/所定の申請書は原則としてホームページよりダウンロード。記入後書留で送付。
- 問い合わせ先/(社)住宅生産団体連合会助成事業事務局
105-0001 東京都港区虎ノ門1-6-6 晩翠軒ビル4階
Tel.03-3592-6441 Fax.03-3592-6464
ホームページ <http://www.judanren.or.jp/>

米日財団 日米相互理解プロジェクト助成

- 受付締切/8月
- 助成の対象となる団体/無制限です。海外日本人、在日外国人、海外外国人も応募できます。ただし、個人や営利団体は対象外です。
- 助成の対象となる活動/コミュニケーション/世論:日米両国民の相互理解のため、メディア、非営利団体、世論調査、またオピニオン・リーダーなどの各分野におけるさまざまなプロジェクトを通じ、人物、情報、アイデアを交換する機会を提供するもの。
- 応募方法/直接、財団に申請してください。専用の申請用紙はありません。
- 問い合わせ先/米日財団 107-0052 東京都港区赤坂1-14-2 雲南坂ビル1階 Tel.03-3586-0541 Fax.03-3586-1128
ホームページ <http://www.us-jf.org>

(財)庭野平和財団 活動助成(後期分)

- 受付期間/7月1日(火)～8月13日(水)必着
- 助成の対象となる団体・個人/個人・団体のいずれでも申請できます。(一個人、一団体につき一件の申請に限り)申請者の国籍、団体の場合の法人格の有無は問いませんが、持続性のあることを原則とします。
- 助成の対象となる活動/【宗教的精神に基づく社会・平和活動】神仏への畏敬の念から発して、広く社会及び個人の生活における物心両面の福祉に寄与しようとするものであり、特定の宗教の枠を越えて展開されている平和のための教育・社会奉仕・開発協力・環境保護・人権擁護・高齢化問題への対策などの活動。
【地域のエンパワーメントを創生する活動】地域のエンパワーメントを創生するために、様々な団体・個人がともに深い精神性・祈りをもって開かれる、集いやワークショップに助成を行います。理論と活動のインターアクトによる新しい価値観の創造を期待します。
- 助成の額/1件あたり上限100万円。
- 応募方法/申請する事業の内容が「活動」であることを明記し、あわせて住所、氏名、職業(職場・研究所などまで詳しく)、電話番号を明記し、官製ハガキ、書簡、Faxのいずれかで申請書類を請求するか、ホームページからダウンロード。申請は必ず書留にて送付。
- 問い合わせ先/(財)庭野平和財団助成係 166-0022 東京都新宿区新宿1-16-9シャングリラ・カテリーナ5階 Tel.03-3226-4372 Fax.03-3226-1835 E-mail info@npf.or.jp
ホームページ <http://www.npf.or.jp/>

助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人・その他の法人などの情報を収集し、活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。その情報は冊子で刊行されているほか、ホームページやファクシミリサービスでも閲覧できます。財団法人 助成財団センター
Tel.03-3350-1857 Fax.03-3350-1858
ホームページ <http://www.jfc.or.jp/>

助成金 ニュース

ファイザープログラム

心とからだのヘルスケアに関する市民活動支援

- 受付締切/7月18日(金)消印有効
- 助成の対象となる団体/1、非営利団体(法人格の種類や有無は不問)。
- 2、日本国内に活動拠点がある。3、原則として2年以上の活動実績がある。
- 4、団体の目的や活動内容が、政治・宗教などの目的に偏っていないこと。
- 助成の対象となる活動/重点課題は以下の通り。ただし、重点課題以外のプロジェクトについても主旨に合うもので高評価を受ければ対象になります。
- 1、成長過程にある人たちの心身の発達を支援する活動
- 2、社会的な受け皿がないために保健・医療が受けられない人たちの心身のケアを支援する活動
- 3、障害を持つ人や療養にある人たちの充実した生き方を支援する活動
- 助成の額/1件あたり上限300万円。15件程度。
- 応募方法/申請用紙はホームページからダウンロードするか、「申請用紙希望」と明記の上、氏名、住所(郵便番号も)、電話番号を添えて、Faxまたはハガキで申込んでください。申請書類は下記まで郵送または宅配便で送付。
- 問い合わせ先/ファイザー製薬株式会社 ファイザープログラム事務局(担当:田村) 151-8589 東京都渋谷区代々木3-22-7 新宿文化クインビル Tel.03-5309-7057 Fax.03-5309-9004
ホームページ <http://www.pfizer.co.jp/pfizer/company/philanthropy/index.html>

住宅生産団体連合会 住宅関連環境行動助成事業

- 受付締切/7月31日(木)消印有効
- 助成の対象となる団体/団体・法人、非営利組織NGO、NPO及びグループ

各分野のネットワークから

ローカルネットワーク誕生!!

本年度、久居市に小さな「子育て支援ネットワーク」が産声をあげました。久居市子育て支援センター事業の一部を“どんど”が受託したことで、改めて、子育て支援センター、児童センター、福祉事務所、子どもセンター(事業)、そしてNPOが、定期的に、お互いの事

業や地域の子育て支援について情報交換をしようという集まりです。些細なことですが、この会議の実現に4年の月日がかかっていますので「快挙」と言っても過言ではありません。「今秋に合同でイベントをしよう!」と参加者から提案がありました。ぜひ実現したと思います。ようやく芽生えたネットワークです。時間が経たなくても、ていねいに育てていきたいと思ひます。

HPを一部リニューアルしました。ぜひ見てくださいね!

特定非営利活動法人久居市子育て支援ネットワークNPOどんど

514-1116 久居市新町3006ポルタひさい1階 Tel.059-254-6080 Fax.059-254-6090

E-mail dondo@pasoya.jp ホームページ <http://www.pasoya.jp/~dondo/>

子育て支援キャラバン事務局 上記、NPOどんど内 E-mail caravan@pasoya.jp ホームページ <http://www.pasoya.jp/~caravan/>



桑員地区

まちなファンクラブ
510-0068 桑名市中央町18東ビル2階
Tel.0594-27-2700 Fax.0594-27-2733
E-mail fanclub@mie-kita.gr.jp ホームページ <http://www.mie-kita.gr.jp/>

桑名・員弁地区まちなファンクラブができました。

桑名・員弁地域は、一市八町22万5千人がくらす地域です。名古屋から車で20分ほどの圏内ですが、山、丘陵、森、川、海がたつた自然に恵まれた地域であり、昔から交通の要衝として栄えた商業と歴史の豊かな地域でもあります。その桑名・員弁地域にある多度町中央公民館で、4月29日に「まちなファンクラブ」の設立総会が行われました。まちなファンクラブは、まちづくりや市民活動に興味のある人たちが交流する会です。

この地域でもたくさんの人たちがまちづくりに取り組んでいます。まちなファンクラブでは、毎月一回、その人たちのまちを訪れ、どんなまちづくりをしているのかお話を聞き、意見交換をしていきます。たとえばこの6月は、いなべ子ども活動支援センターのコミュニティスクールへの取り組みや地域通貨について、井上淳典(寺子屋プロジェクト)さんのコーディネートで、員弁町コミュニティプラザにて行いました。あつという間にすぎた充実した時間でした。7月は桑員エコリーグさんの環境に対する取り組みをテーマに交流会(3

ページ参照)を行います。この交流会はどなたでもご参加いただけますので、詳しくはホームページのご案内などをご覧くださいね。

まちなファンクラブ設立の経緯ですが、今年の1月から4回の準備会を開催し、ワークショップを重ね、72名の設立発起人を得てスタートしました(現在会員は88名)。このワークショップではさまざまな意見が出ました。たとえば、市民活動の課題に取り組むときの分野別の事業課題・ニーズのキーワードは【応援】【交流】【循環・情報】【場】【提案】でした。分野別の関心・興味のキーワードは【子育て】【ゴミ】【自然】【生活】【農】【国際】【文化】【街】【リサイクル】【移手段】【運動】【行政】などでした。

それらを整理して意見交換を重ねていくなかで、自分たちが今できることから始めようということになりました。まちなファンクラブとしては、あまり形式ばらずに、交流会の世話人たちが気軽に話しながら、まちづくりにかかわるいろいろな人たちと交流していければと思っています。



北勢地区

特定非営利活動法人 地域づくり考房 みなと 常務理事 辻本晴美
510-0033 四日市市川原町26-13
Tel.0593-31-0713 Fax.0593-31-0719

Jマネー試験運用中・Jサポーターズ募集中

(特)地域づくり考房 みなとは、昨年6月から日本財団の支援を受けて《循環者ファンド》システム立ち上げ事業に取り組んできました。このシステムは、市民活動団体が資金サポートをより受けやすくするために地域通貨《Jマネー》を利用する仕組みです。

前に、四日市での試験運用開始の記事を掲載させていただきましたので、覚えておられる方もいらっしゃるかと思います。今回は6月1日に「じばさんみえ」にて、中間報告会を開催いたしました。

1年をかけて協議してきたシステムの説明、事例報告、パネルディスカッション、交流会と無事終了しました。

パネルディスカッションは、四日市市長井上哲夫氏、三重県市民活動資金サポートシステム研究会副代表水谷としお氏、(株)三重銀総研研究員土方研也氏、四日市大学総合政策学部助教授松井真理子氏にご出席いただき、「NPOは社会を変える力になれるか?」をテーマに議論をしていただきました。なかなか熱の入った議論の展開になりました。(テープ起こし配布を予定しています…出来ましたらご案内します。)

ぜひ、多くの方にこのシステムに参加していただき、広い視野、

たくさんの視点から運営していきたいと考えています。

また同日、市民活動団体16、企業関連4の方に団体紹介のためのパネル展示をしていただきました。会場にも寄付の受付を設けたところ、22団体宛54,400円の寄付を頂戴いたしましたので、ご報告申し上げます。

なお、Jサポーターズに興味をもたれた方、あるいは参加したいと思われる方は、ぜひお問い合わせください。



【NPOマネージメント講座】

NPOマネージメント講座を会計に焦点を絞って開講いたします。スムーズな会計処理は、団体運営のカナメです。会計の基本から、決算処理、税務、減免申請、マネージメントまで理解を深めてもらえますように全5回にわたって開講します。

- とき/7月10日(日)、19日(土)、8月10日(日)、12月14日(日)、1月18日(日)
- ところ/みえ市民活動ボランティアセンター・イベント情報コーナー
- 参加費/各回2500円

伊賀地区

W.T.A まちづくりセンター情報

〒518-0066 上野市山王町 3045-1
tel. 0595-24-7612 070-9226-1526
fax. 0595-22-0672 4樓: 中央 丁
〒518-0014 mag: 47430@cpw6.jp

NPOの活動情報
今年6月1日(日)に「じばさんみえ」にて、中間報告会を開催いたしました。1年をかけて協議してきたシステムの説明、事例報告、パネルディスカッション、交流会と無事終了しました。

NPOマネージメント講座
NPOマネージメント講座を会計に焦点を絞って開講いたします。スムーズな会計処理は、団体運営のカナメです。会計の基本から、決算処理、税務、減免申請、マネージメントまで理解を深めてもらえますように全5回にわたって開講します。

まちづくりセンター
まちづくりセンターは、市民活動団体の活動をサポートするための拠点です。NPOの活動情報や、まちづくりの情報を提供しています。

▶▶▶▶▶ **がんばれネットワーク** ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうにつながっているのでしょうか。老人保健施設での音楽ボランティアを続けている大嶋敬子さんからご紹介いただいたのは小川多恵子さん。地元での活動にこだわり、My茶論というグループをつくりました。

地元ベースの活動「My茶論(まいさろん)」

……ボランティアや市民活動に関わるようになったきっかけは？
40歳の時にふと気付いたんです。「私は自分のためにしか動いてない」って。それで自分にできることは無いだろうかと考えていた時に、フォスタープランを知りました。フォスタープランとは途上国で子どもに焦点をあてた地域開発を支援する国際援助団体です。10年前からはフォスタープラン支援者の集いである、フォスターペアレント桑員の会の世話人をしています。その他、名古屋の「WIN女性企画」というグループにも参加していますし、「愛知岐阜三重女性を議会に」に在籍していたこともあります。

……フォスタープランは世界規模の活動ですし、その他のグループも広域的な活動のようですね。

県内では、桑名市を中心に「ぐるうぶ華」という女性問題を考える会を立ち上げました。5年間活動し、その後はメンバーそれぞれの活動に力を入れていくという発展的解消というカタチになりました。私の場合、自分が住む北勢町を基本とした活動をしたかったです。

……地元で活動を始めようと思ったのはなぜですか？
いろいろな経験をして、地元で何もできないのではダメなんじゃないかと。それで何か地元で根ざしたもの、密着した活動をしたいと思ってつくったのがMy茶論というグループです。あと、98年に三重県女性センターを会場として開催された三重県女性フェスティバルに企画から関わったこと、またそこで講師の方から言われた「ここで学んだことを地元で生かしてください」という言葉の影響も大きかったですね。

……My茶論の活動を教えてください。
主な活動は年に一回、私の住む地域にある麻生神社で行う出前コンサート。これまでに4回、開催しました。

……メンバーはどうやって集めたのですか？
町内に広く呼びかける前に、一緒に世話人を勤めてくれる人を私も含めて6人、集めました。その内、3人の方は北勢町麻生田で生まれ育って、家の跡取りをされた方です。地域の中で活動するためには、生まれも育ちも地元という人が絶対に必要だと思ったんです。

……最初に細かな計画を立てたのですか？
計画というよりも、ここに長年住まわせてもらったからこそ得たフィー

リングです。「出る杭は打たれる」と言うか、この辺りには都会とは違う感覚がありますから。

……それでは世話人を集めるのも大変だったのでは？
最初は何が起るのかも全然わからない状況でしたから、みんなとても不安を感じていました。それで「私が全部責任を持つから」と、一人ひとり、お願いしました。最終的には引き受けてくれましたけど、コンサートの案内チラシに連絡先を掲載するのも戸惑ってました。

……どうやって説得したのですか？
神社の近くに住んでいる方なら「お茶の準備を手伝って?」とか、これならできそうということから切り出し、部分参加でもいいからとお願いしました。

……それから更に呼びかけをされたのですね。
何か活動をしているらしい方の所へ、直接チラシをポストイングしていきました。これで3人が加わって、その後多少の入れ替わりがあって、現在8人で活動しています。

……自分一人で開催するのではなく、大変な思いをしても人を集めたのはなぜですか？
一人では何もできないからです。外での活動を通じて、それはよくわかりました。それに地元仲間をつくりたいと思ったんです。

耳にも、目にも楽しい出前コンサート

……1回目が室内楽、その後、津軽三味線とフラメンコや太鼓とフラダンス、胡弓とバラエティに富んだ内容のコンサートですね。演奏者はどうやって決めているのですか？
室内楽の時は、メンバーである陸田さんの娘さんが、名古屋音楽大学に通っていたという関係で探してもらいました。その後は私実際に見聞きし、「これは」と思った方に直接、交渉しています。

……交渉も自分で？
とにかく、当たって砕けろです。相手の方にお会いして、「何も知らないから、教えてください。お金も無いんです。失礼ですけど、おいくらなら演奏してもらえますか?」って聞いていくんですよ。演奏者の方たちがみんな好意的だったんですよ。いきなり来て、変なお願ひする私に丁寧に答えてくれましたから。

……熱意を感じて、演奏者の方もやりがいを感じたのでは？
当日は当日で、エプロンをつけたおばさんたちが走り回っているでしょ(笑)。ここならではの雰囲気喜んでもらっているようです。

……フラメンコと津軽三味線など、取り合わせも面白いのですが、この発想はどこから？

気付いたらできていたという感じなので、発想の仕方は聞かないで(笑)。普段、音楽に親しむ機会が無い方も多いので、このコンサートでは音楽だけでなく、見て楽しめることも大切なんです。あと、変わったジョイントだと人を呼ぶのにも効果的ですね。

……行政などの協力は？
協働できればいいなと思い、自治会に協力をお願いしました。自治会のルートを使って、町内全300戸にチラシを配ってもらったほか、自治会の集まりでも告知をしてもらいました。

……予算的なバックアップは？
自治会の予算からは難しいということでしたが、歴代の自治会長さんや役員さんが個人的にご祝儀などで援助してくださっています。

My茶論



小川多恵子 さんに聞く

自治会と言えば、告知をしていただいた時にチケット料金のことが問題になったんですよ。

……問題とは？

「こんな田舎で、お金を取ってやるの！」って言われちゃいました(笑)。でもタダより高い物は無いと思うんです。タダだからたくさんの方が来てくれるというものじゃないんですよ。いくらかの料金を支払って、気持ちをコンサートに向けてもらうことも大事だと思います。

いろいろな経験をして、 地元で何もできないのでは ダメなんじゃないかと。

……でも、周囲にその認識が無ければ販売も大変だったでしょう？ My茶論のメンバーたちもチケットを販売することに抵抗を感じていました。1回目のチケットは200円でしたが、それすらこの辺りの言葉で言うと「いやらして、売れん」と。「演奏者さんに交通費やお礼も払わないといけないし、これからは無料ボランティアの時代じゃない」とメンバーを説得し、泣くような決意で1軒、1軒廻って売り始めたんです。そうしたら結構、売れちゃった(笑)。

……チケット料金はどうやって決めているのですか？

演奏料、舞台設営、飲食費、交通費を合計し、逆算で決めます。

……赤字になったら？

その時、考えます。今のところ、赤字になったことはないんです(笑)。やる前にこけることを考えたらできないでしょう。

……収益は赤字補填に貯めておかないのですか？

必要経費を除いた分は北勢町社会福祉協議会に寄付しています。毎回、収支をゼロにするのが、私たちにとっては良いことなんです。

……メンバーの件費などは？

切符の郵送や交渉などで必要となる通信費はいただいています。……ご家族の反応はどうですか？

夫たちには舞台やテントづくりや音響、照明など、いろいろ協力してもらっています。特に設営が難しかったフラメンコの舞台をつくってもらった時にはメンバーたち全員、最敬礼(笑)。

……最初から家族も活動に巻き込むつもりだったのですか？

全然。最初は「どうも妻が何かするらしいわ」という感じでした。私は一応、発起人ですから自分の夫に「何かあったら助けてね」とお願いしてましたけど。みんな上手に夫さんを巻き込んだんですね。そして優しい夫さんばかりだったんですね。

……夫婦と一緒にイベントをつくりあげる。素晴らしい関係ですね。男女共同参画ってお題目を言うだけじゃなく、一緒にやれることはいっぱいある。男も女も関係なく、協力しあえるのがいいですね。

……集客数は？

毎回、300人前後です。北勢町内とそれ以外からのお客さんで半々といったところですよ。今後の課題は町内、それも麻生田地区の方に来てもらうことですね。

……町外の広報はどのようにしたのですか？

新聞などに情報掲載をお願いしました。後はこれまでの活動で培った個人的な人脈ですね。

……お客さんの反応はどうでしたか？

1回目のコンサートで、すごく喜んでいただいて、やって良かったなと思えました。それで2回目も行う勇気が出たんです。2回目以降

は雨だったんですけど、それでもたくさんの方が来てくれました。帰り際、メンバー全員が雨の中に立って「ありがとうございました」と声をかけました。おのずと声が出てきたんです。

……喜びだけでなく、ツライこともあったのでは？

「やった！」という喜びの方が大きいですね。大変なことばかりだったら止めてますよ。続けることが証拠です。

……成功したことで、メンバーの気持ちにも変化が出たのでは？ コンサートが終わった時点で、全員が次の予定を手帳にメモしているの(笑)。みんなが主体的に関わってくれるようになったのがとても嬉しいですね。一番最初、チラシに電話番号を記載したのは私と陸田さんだけでした。それが2回目以降は全員が電話番号を記載しているんです。この進歩、素晴らしいでしょ。メンバー一人ひとりが確実に成長している。私はそれを実感したんです。

……みなさんの様子を見て、仲間に入りたい人もいるのでは？

今年、そういう声もありました。My茶論が今後どうなっていくのかを考える段階に来ているのかもしれない。

……来年の予定は？

4月の第4土曜日に行きます。次回は好評だった胡弓と津軽三味線。あと、太鼓と笛も取り入れたいと考えています。

「おうちランチ」で友だちづくり

……出前コンサート以外の活動は？

自宅を提供して、お客さん20人くらいのミニコンサートを行っています。あと、おうちランチをひと月おきに行っています。

……おうちランチとは？

手づくりの昼食を食べながら、おしゃべりを楽しむ会です。仕事などが忙しく、普段おしゃべりする場の無い方に来てもらいたいと始めました。私とMy茶論メンバーの伊藤紀久子さんの二人で行っているの、正確に言えばMy茶論の活動では無いんですけど、My茶論があったからこそ、できるようになった企画だと思っています。

……参加者は固定ですか？

知人を広げるという意味もあるので固定ではなく、私と伊藤さんそれぞれの友人を招いています。My茶論の他のメンバーが参加することもありますよ。おしゃべりする友だちって、勤めている人は職場、家にいる方は近所という風に偏りがちでしょう。だからここで、いろんな人との繋がりをつくってもらいたいんです。

……それだけ多様な活動をしているとお忙しいのでは？

好きで動いているんですから、悪くて忙しいなんて言えません。それに「忙」という字は心を亡くすと書くでしょう。心を亡くしていたら、なんのために動いているのかわからないじゃないですか(笑)。

My茶論

住所／員弁郡北勢町麻生田2723 Tel.0594-72-2587

小川多恵子さんはこの人を紹介します。

西村昌子さん

四日市在住の西村さんは水音の芸術として近年、注目を集めている水琴窟のアピール活動をされています。



第1回の室内楽。



満員の観客席。



第3回の太鼓。

お
ね
が
い

市民活動・ボランティアニュースに情報を提供される際、以下のことにご注意ください。

(1) 原稿はニュースにそのまま掲載できる状態にして、毎月15日までに送ってください。

(2) 送付はE-mailもしくはFaxで。その際、「市民活動・ボランティアニュースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。Fax.059-222-5971 E-mail seiknpo@pref.mie.jp

転載を希望される場合は必ずNPOチームに連絡してください。

100

PRINTED WITH
SOYINK

古紙100%、白化度83.5%の紙と環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています。